

令和3年11月16日(火) 13:30～；国分寺跡

1 出席者(敬称略)

学校運営協議会委員：大久保武、伊藤敬子、贄田浩邦、川島 啓、本校校長、地域連携教員
※平井 勲、間中康夫、中祖光隆、大山美千子(欠)

学校地域協働推進委員：宮川長一
事務局；教頭

2 会議録

(1) 2学年里山活動参観(13:30～15:00)

- ① 文化財課、風土記の丘職員による国分寺跡についての説明
- ② 里山活動



(2) 感想・意見等

<里山活動を参観して>

・小中一貫教育の事業として、この里山活動を小学生と中学生が実施する意義はとても大きいと考えます。今回は、中学生が枝を拾ってくれたおかげで、小学生が安心して落ち葉を拾うことができます。環境を整えていただき、誠に感謝します。今後も、なぜこの里山活動を行うのか、考え、学びながらこの事業が継続することを願います。



・子どもたちが楽しく活動しているのが印象的だった。中2とはいえ、広いフィールドに出れば表情や行動が自然に帰り、子どもの素顔が見られたように思う。

・時間をかけて現地へ移動するのですから、里山清掃のみではもったいないと思います。国分寺の歴史等に関する事前学習をしておけば、現地での説明も理解しやすいし、また、清掃終了後に風土記の丘資料館を見学すればさらに地元の歴史を通して誇りと愛着がもてるようになると思います。

・生徒が意欲的に落ち葉拾い、清掃活動に取り組み、また地域の歴史の説明に耳を傾けている様子が印象に残りました。「総合的な学習の時間」では、自然体験やボランティア活動などの社会体験を通じ、地域と自己のつながりを理解し、また地域や社会に貢献する態度を養っていくことがねらいと理解しますが、国分寺の歴史を学び、地域への貢献という目的は達成されたと思いますが、里山を中心に保たれている自然、環境保全の重要性、農業の結びつきなど、里山を題材にし、より大きな学びを設定しても良かったのではないかと思います。



<本校の教育活動・生徒の様子について>

・中学生が意欲的に活動する様子が見られ、素晴らしいと思いました。クラスごと、グループに分かれ、各所で枝が山積みになっていく様子に感動すら覚えました。細かな指示や指導もなく、自ら考え働く様子に、常日頃のご指導の良さが見えました。素晴らしい活動の様子でした。



・今後は、こういう活動がSDG's等の社会活動としてどのように位置づけ、価値付けされるのかが重要だと感じる。楽しんだり、自己肯定感を向上させる教育活動の推進を期待すると同時に協働していきたいと考えている。

・生徒は明るく、皆意欲的に取り組んでいる様子でした。

<その他>

・教育委員会文化財課の方々、そして国分寺中学校の先生方には、ご準備からご指導まで本当にお疲れ様でした。

・今年度は、とにかく多くの活動に制約が入る中で、中学校の先生方は工夫した実践をされてきていると考える。この経験を一過性のものとしたくないことが今後の新しい学校教育には重要かと思う。やめるもの、変えるもの、新たに実践していくもの、学校全体・協力する方々(P T Aや地域)と共有し、進めただけければと思う。